

令和4年度 国立中央青少年交流の家 教育事業

富士のさと 防災・減災キャンプ

“自助”“共助”“公助”を学び、防災や減災を体験しよう

開催要項



- 趣 旨** 防災・減災について、自分ごととして捉え、“自助”“共助”に関して深く考える機会にするとともに、災害救助の第一線で活動する自衛隊と交流し、“公助”についても学ぶ機会とする。2日間の体験活動を通して不自由さを体感するとともに、避難所体験を経験することで被災者と支援者の両面を学ぶ場とする。そして、防災・減災の大切さに気付き、日常生活の中で役立てられるようにする。
- 主 催** 独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立中央青少年交流の家
- 期 日** 令和5年1月21日(土)～22日(日)【1泊2日】
- 協 力** 自衛隊滝ヶ原駐屯地・板妻駐屯地
- 対 象** 小学4～6年生 24名程度
- 会 場** 国立中央青少年交流の家
- 参加費** 3,000円(食事4食分、シーツ洗濯料、保険料、雑費等)
- 企画運営** 国立中央青少年交流の家職員及び社会教育実習生(大学生等) 他

9. 日 程

				9:30	10:00	11:00	12:30		16:00	18:00	19:00	20:00	21:00
1日目				受付	開講式	アイスブレイク	非常食体験	体験①(自衛隊)	体験②	非常食体験	準備	振り返り	就寝
2日目	6:30	7:30	8:30	9:00	10:00	12:30	14:30	15:00					
	起床	準備	非常食体験	片付け	体験③	炊き出し体験	講話、ワークショップ	閉講式					

(活動内容)体験① 自衛隊講話及び車両・装備品等の紹介、土嚢づくり体験

体験② 災害用トイレ体験、避難所設置体験

体験③ 火おこし体験

※宿泊については避難所生活体験として屋内テント泊となります。

※天候状況や協力機関の予定等によりプログラムの内容を変更することがあります。

10. 申 込

【受付期間】

令和4年 12 月 1 日(木)～令和4年 12 月 23 日(金)

【方 法】

右記のQRコードからお申込ください。

(応募者多数の場合には抽選とさせていただきます。)

※下記の当施設メールアドレスを受け取れるように設定をお願いいたします。

※抽選の結果は 12 月 28 日(水)までにメールで連絡をいたします。



11. 持 ち 物 参加費 筆記用具 動きやすい服装 運動靴 帽子 着替え 防寒着
タオル マスク 雨具(カッパ) 懐中電灯 手袋(軍手)
常備薬(参加者自身で服用できるもの)

12. そ の 他

- (1) キャンプ中の食事は野外炊事や非常食の配給になりますので、**食物アレルギーの対応ができない場合があるため、**事前にご相談ください。
- (2) キャンプの詳細については、参加決定後(1月初旬)にご案内します。今回のキャンプは避難所生活体験の観点から水の使用を制限し、入浴及び歯磨きについては行いません。その代わりに専用のシートを用いて対応します。
- (3) 教育事業中に体調不良となった場合は、ご帰宅いただくこともありますのでご理解とご協力をお願いします。
- (4) 天候や新型コロナウイルス感染等の拡大状況により、事業の中止または活動内容等が変更となる場合もございます。予めご承知おきください。
- (5) 参加決定後、開催日まで1週間を経過してからのキャンセルについては、キャンセル料として食事代を請求する場合がございます。
- (6) 新型コロナウイルス感染拡大防止について(下記枠内参照)

当事業は、「教育事業編：新型コロナウイルス感染防止ガイドライン」
(当施設 HP に掲載・右 QR コード) に則って運営いたします。
必ず、ご一読いただき、ご理解いただいた上でお申込ください。



13. 問い合わせ先(ご不明な点については、下記担当までご連絡願います。)

独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立中央青少年交流の家

〒412-0006 静岡県御殿場市中畑 2092-5 TEL : 0550-89-2020 FAX : 0550-89-2025

E-mail : fujinosato-kss@niye.go.jp

担当 : 小津・宮崎・渡邊

2015年の国連サミットで、全員同じ意見で決められた
2030年までの国際目標「これからつながる開発目標
(SDGs)」の達成をめざし、国立中央青少年交流の家は
進んで推進活動に取り組んでいきます。

